

□

開催日時 : 令和6年10月30日(水) 13時30分～14時55分

開催場所 : 高知県立県民文化ホール 4階 第6多目的室

審査委員 : 農業振興部 副部長(総括) 池上 隆章
 農業政策課長 川谷 知世
 農業担い手支援課長 田村 周一
 環境農業推進課長 千光士 啓
 農業イノベーション推進課長 平田 建彦

高知県青年農業士連絡協議会会長 政光 錫明

高知市東部土地改良区 理事長 大野 哲

株式会社南国スタイル 代表取締役専務 中村 文隆

高知大学農林海洋科学部 教授 佐藤 周之

(1) 【報告】整備事業 24地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
農地耕作条件改善事業	井ノ口高台寺	安芸市
農地耕作条件改善事業	植田	南国市
農地耕作条件改善事業	東崎	南国市
農地耕作条件改善事業	宍崎	南国市
農地耕作条件改善事業	山北2期	香南市
農地耕作条件改善事業	香我美	香美市
農地耕作条件改善事業	物部	香美市
農地耕作条件改善事業	京田	香美市
農地耕作条件改善事業	奈路	四万十町
農地耕作条件改善事業	早咲	黒潮町
農地耕作条件改善事業	東島2期	安田町
農地耕作条件改善事業	須磨	香南市
農地耕作条件改善事業	柚ノ木	三原村
農業水路等長寿命化・防災減災事業	赤野2期	安芸市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	和食2期	芸西村
農業水路等長寿命化・防災減災事業	正弘2期	安田町
農業水路等長寿命化・防災減災事業	物部川3期	南国市、香南市、 香美市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	野市	香南市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	烏川1号	香南市

農業水路等長寿命化・防災減災事業	竹ノ内	香南市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	母代寺	香南市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	山田川左岸2期	宿毛市
農業水路等長寿命化・防災減災事業	山北	宿毛市
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	桐間第一	須崎市

[説明者：農業基盤課（整備事業担当）]

【質 疑】

(委員)

- ・ 地区の農業者や事業者から区画整理や排水施設設置等の要望があった場合には、営農計画や事業プラン等を県が事前に確認したうえで、国に事業の申請が行われているという理解でよいか。

(事務局)

- ・ 各地区から要望があった際には事前に計画を確認し、国に申請を行っています。

(委員)

- ・ 排水施設（暗渠排水）を設置するにあたって、延長や本数、口径等の設置基準はあるのか。

(事務局)

- ・ 排水施設（暗渠排水）は国の設計基準に基づき、現場条件を踏まえて適切な規模を計画して設置しています。

(委員)

- ・ 用水ポンプを設置するにあたって、ポンプの能力や設置台数はどのように決めているのか。

(事務局)

- ・ 委託設計にて、各地区のニーズに応じて適切な規模の用水量及びポンプの規格、台数を検討しています。

(委員)

- ・ 営農に必要な用水の確保は国や県の事業に頼るのではなく、個人もしくは事業者で賄うべきではないかというのが個人的な意見としてある。皆さんがこのことについて、どう考えるのか聞きたい。

(事務局)

- ・ 事業化をするにあたっては、その事業が地域農業の強化に繋がるものであったり、新規就農者の支援に繋がるものということを条件にしています。現在各地域で取り組んでいる地域計画にしっかり位置付けてもらうことも要件になってくると思っています。

(委員)

・ 老朽化による既存頭首工（ゴム堰）の改修を行う際に、ゴム堰のまま改修するのか。
（事務局）

- ・ 施設の改修にあたっては、経済性及び将来の維持管理性等を考慮して最適な工法を検討します。

（委員）

- ・ 山北2期地区の水路補修工法については、来年度に実施する設計委託の中で工法の検討を行うということだが、検討にあたっては出来るだけ元々の材料が生きる補修材料を選定していただきたい。

（事務局）

- ・ 検討する際に留意します。

（2）【報告】防災事業 2地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
用排水施設整備事業	中ノ浦	須崎市
ため池整備事業	第1調整池	香美市

【説明者：農業基盤課（防災事業担当）】

【質 疑】

（委員）

- ・ 中ノ浦地区のポンプ増設について、増設するポンプの排水能力が適正なものであるという整理をしっかりとしておく必要がある。

（委員）

- ・ 第1調整池地区のため池堤体補強工事で、鋼矢板工法により堤体内部の水位を低下させる工法を採用されているが、元々の材料が土である堤体に異なる材料である鋼矢板を入れた場合、止水効果が地震時でも正常に機能するかどうかかわからないという思いがある。防災事業であるため、経済性だけでなく安全性がより高い工法を採用していただきたい。

（委員）

- ・ 防災事業は農地耕作条件改善事業に比べて公益性が高いので、税金を投入する価値が高いと個人的に感じた。
- ・ 農業従事者の間で、最近話題になっているのが元々の農地の宅地化が進んでいる。住宅地の近隣で営農するとなると農薬の使用等いろいろ気になることが出てくるため、住宅地から移転するための支援等を考えてもらいたい。